

有用藻類の高度利用による物質生産の仕組みづくり

- 藻類全代謝マップの解明とゲノム編集を活用した代謝エンジニアリング -

近年カーボンリサイクルの取組への急速な注目と相まって、藻類での有用物質生産に注目が集まっている。一方、藻類は植物に比べ、生物進化の観点からもその起源が多様で、それぞれが持つ代謝系も異なり、基盤技術の構築のし易さも大きく異なる。藻類で有用物質を生産する仕組みづくりを進める上では、ターゲットとする藻類の選抜は極めて重要だが、そのターゲットの特性を最大限に生かして、有効なものづくりを進める上で、その藻類の代謝系の全容解明や、代謝を自在に改変するツールとなるゲノム編集技術の確立が特に重要となる。本講演会では、その高い油脂生産性などで世界的にも注目を集めている油脂高生産藻ナンノクロロプシスにおける基盤技術開発の現状とこれからについて紹介し、情報交換の場を提供したい。

開催日時
開催方法

2023年6月15日(木) 開場 12:30 開始 13:00~15:45(終了予定)

会場開催のみ:ステーションコンファレンス東京 602

(JR東京駅日本橋口直結・サピアタワー6F)

<https://www.tstc.jp/tokyo/access.html>

参加申し込み

事前登録制(申込期限:6月14日(水)まで)

以下URLまたは右のQRコードからお申込みください。

www.kazusa.or.jp/workshops/cbln/cbln_r5_index/



プログラム

(敬称略)

【総会】

13:00~13:30

- ① 主催者挨拶
- ② 令和4年度事業報告・令和5年度事業方針

【事例報告会】

13:30~14:10

藻類による有用物質生産に向けた仕組みづくりと藻類代謝エンジニアリング
株式会社ファイトリピッド・テクノロジーズ 代表取締役CEO
(公財)かずさDNA研究所 特別客員研究員
東京工業大学名誉教授 太田 啓之

14:10~14:50

ノンターゲット・メタボローム解析による全代謝マップの確立を目指して
(公財)かずさDNA研究所 藻類代謝エンジニアリングチーム
チーム長 櫻井 望

14:50~15:00

休憩

15:00~15:40

ゲノム編集技術の社会実装を目指した拠点形成と藻類での基盤技術確立
プラチナバイオ株式会社 CTO
広島大学教授 山本 卓

15:40~15:45

閉会の挨拶

事務局

(公財)かずさDNA研究所

企画管理部事業推進課

TEL.0438-52-3957

E-mail: bio-network@kazusa.or.jp



千葉県バイオ・ライフサイエンス・ネットワーク会議

千葉県・公益財団法人かずさDNA研究所 共催